

介護と人生

仕事・子育てと
どう両立させる？

日本エルダーライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー

柴本美佐代

介護者への支援

自己紹介の際に私が「介護者の支援をしています」と言っていると『介護者』という言葉に首をかしげる方がおられます。「介護が必要なる人でなく、介護している人のこと」と説明しても『介護者支援』を正確に理解できる人はあまりいません。

「それは介護保険制度のことですか」とか「高齢者

への支援ですね」と言う方もおられますが、どちらも正しくもあり、間違いでもありといったところです。

介護保険サービスは介護者の負担を軽くするために使われますが、本来の目的は『要介護者の自立』にあります。介護が必要になってもできるだけ自立した生活ができるようにするのが目的です。ですから、要介護者のオムツ交換にきたヘルパーは家族が疲れきってお腹をすかせているのを見てもそのための食事をつくることはできません。

高齢者支援でもありません。親を介護している人は高齢でないことが多く、若い世代もいます。なお介護者の3分の1は男性です。

介護者支援とは、介護によって自分自身を犠牲にす

1

ることなく介護する人も介護を受ける人も幸せな介護となるように、この多様な介護者に働きかけることです。介護はつらいことも少なくありませんが、目をそらして逃げていては解決しない事はかりです。

ですから、介護者がより良い選択ができるよう、私たちは介護する人が知っておきたい知識や介護生活に必要な情報を提供しています。また、介護者が孤立することがないように見守り声かけをする人材を育成し、介護への関心の高い社会づくりを目指しています。

介護心中や介護殺人、これらのニュースを見聞きするたびに、こんな事態になる前に誰か介護者におせっかいをする人がいなかったのかと悔しく思います。

そんな思いを込めて介護者支援の人材を『お節介士』と名付けました。そのお節介士の代表である私が『介護と人生の両立』についてお伝えしていきます。

する人も受ける人も幸せにする



お節介士は

介護者の支援
をしています

介護について社会の関心が高いことを目指します